

No. 3104

2024-2025年度

会 長 中村 吉伸
幹 事 菅原 佳典
広報小委員長 川口健太郎



島 海碩 書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020
創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



本日のプログラム

令和7年2月6日 第3105回

- ・ 会員リレー卓話
橋爪 正芳 君、北畑 貴行 君
- ・ ソング：「君が代」「奉仕の理想」

前回の報告（第3104回例会）

開催日 令和7年1月30日(木)

点 鐘 [中村会長]

ゲストの紹介 [親睦活動小委員会 嶋田委員長]

ゲスト：紺野 利男氏(有田サッカー協会 会長)

ニコニコ箱の報告 [井上SAA]

中村君：紺野様、ようこそ有田RCへお越し下さいました。
「未来へキックオフ」に御理解と御支援を賜り、誠にありがとうございます。本日は卓話よろしくお願い申し上げます。

石垣君：紺野様、卓話よろしくお願いします。

岩橋君：紺野利男会長、卓話よろしくお願いします。

上野山(捷)君：紺野利男様、本日の卓話楽しみです。よろしくお願いします。

橋爪(正)君：紺野利男様、卓話楽しみです。

宮井君：紺野利男様、ようこそお出で下さいました。卓話宜しくお願いします。楽しみにしています。

松村君：仕事が入ったので早退させていただきます。紺野利男様ようこそ有田RCへお越し下さいました。お話を聞くことができず残念です。

中元君：紺野利男様、本日の卓話よろしくお願い致します。他の会議出席のため早退させていただきます。申し訳ございません。

橋爪(誠)君：紺野様、本日よりよろしくお願い致します。サッカー大会「未来へキックオフ」の開催にあたり、ご指導ご協力、誠にありがとうございます。本番よろしくお願い致します。

川口君：有田サッカー協会 会長 紺野利男様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願い致します。

木本君：紺野利男様、ようこそ有田ロータリークラブへ。本

2024-2025年度クラブ方針

「みんなの力を結集し、
未来に繋がる活動を」

次回のお知らせ

令和7年2月20日 第3106回

- ・ 後期IDM発表
- ・ ソング：「それでこそロータリー」



日の卓話宜しくお願い致します。

児嶋君：紺野利男様、ようこそ有田ロータリークラブへ。本日の卓話よろしくお願い致します。

嶋田君：紺野様、ようこそ有田ロータリークラブへ。卓話よろしくお願いします。仕事の為、途中で抜けさせて頂きます。よろしくお願いします。

福田君：紺野利男様、本日の卓話よろしくお願い致します。

井上君：紺野様、本日の卓話よろしくお願いします。

出席報告

[クラブ管理運営委員会 川口副委員長]

本日の出席者20名/25名

(うち出席規定免除者8名/8名)

会長の時間

[中村会長]

本日は2月11日の「未来へキックオフ」を目前に控え、有田サッカー協会会長の紺野利男様に「子供たちのサッカー」というお題で卓話をいただきます。

サッカーワールドカップアジア最終予選は日本が5勝1分け、勝ち点16と現在単独1位で、3月20日埼玉スタジアムのバーレーン戦で勝利すれば来年のワールドカップ出場が決定します。3月20日19時35分キックオフですので是非ご観戦ください。来年のワールドカップはカナダ・アメリカ・メキシコの3か国で共同開催となります。3か国の共同開催は史上初めてということで、共同開催の理由としては現状のインフラを最大限利用できること、経費を削減できること、1か国で行うより多くの観客を迎えることができること、地域の異文化交流やそれぞれの地域特性を全世界にアピールできることなどのメリットが期待できるとされています。来年6月11日から7月19日は眠い日が続くと思いますが、4年



に1回ですので1サッカーファンとして大変楽しみにしています。

そして今年が目玉事業である「未来へキックオフ」は橋爪誠治奉仕プロジェクト委員長を始め、委員会の皆様には準備に奔走していただき、先週は現地に赴いてシミュレーションも行いました。本日は紺野様の卓話の後、橋爪委員長からプロジェクトの詳細を説明していただきます。この事業は複数年継続の予定です。初年度でありますので、大勢の皆様のご参加をお願い申し上げます。後は当日が快晴になるよう祈るばかりですが、今のところ曇り時々晴れ、最低気温2度、最高気温10度となっています。少々お寒いですが、防寒をしっかりしていただいて、体調を崩されないようお願い申し上げます。

幹事報告 [中村会長]

1. 国際ロータリー

Peace is Possible - RAGFP Newsletterがメールにて届く

2. 2640地区

第2660地区 大阪・関西万博関連事業実行委員会より

【ご案内】万博開幕日パビリオン・イベント予約方法

3. 和歌山ロータリークラブ

2025年2月20日(木)の例会に野井会長、松井幹事、中野S.A.A.がメイキャップに来られます

【回覧物】

- ・万博開幕日パビリオン・イベント予約方法
- ・田辺東ロータリークラブ 週報
- ・Rotary誌

【後方掲示物】

- ・議事録

卓 話



有田サッカー協会
会長
紺野 利男 様

「子供達のサッカー」

あけましておめでとうございます。本年も一皮むけた貴クラブの発展を御祈願申し上げます。

昨年、貴クラブ様より協力の提案を受け快諾させていただきました。中村会長様や担当橋爪様方と検討させていただき、毎年2月11日実施の有田地方杯を新たな「有田ロータリークラブ杯」に名称変更し、えみくるフィールドで実施予定です。多大なご協力とご協賛に感謝申し上げます。

1. 子供たちとの出会いと普及

長男が小学校1年生の時に保田へ引っ越し、2人で近くの公園でサッカーを始めると、そこに子供たちが集まり始めました。転居早々妻と共に店先でたむろする子供たちを何とかしたいと思っていましたので私はサッカー、妻はバドミントンで約3ヶ月後から始めました。

サッカーでは火曜日全面、木曜日半面確保でき、そこから部員が増え続け108名までになりました。田鶴、湯浅、箕島等のクラブづくりを手伝いました。

指導者は県民総体メンバーや経験者で、前提は地域の子育て支援とし、各クラブ独自の目標としました。保田JSCでは「元気・やる気・負けん気」と「自分で考え、動ける子」を目指し現在に至っています。

2. 私のサッカーとの出会い

入社後まもなく寮で誘われたのがきっかけです。先輩からほぼ初心者なのに「大きく蹴れ」でした。当時まだマイナースなポーツで蹴って走って奪いあうものでした。半年後、清水工場より転任された先輩(メキシコ五輪銅メダリスト杉山氏の清水高校時代のコーチ)に全く別の指導を受けそれが今に繋がっています。技術とパスを中心にメンタル面を考えた今に通じるコーチングでした。これが私の原点です。

3. 現状と子供を取り巻く環境

ほぼ初めての集団競技との出会いにはいろいろな環境が待ち受けます。

- (1) 少子化と多様な家庭環境
 - (2) 体罰を代表とする各種ハラスメント禁止…言葉や態度を含む。
 - (3) 子供に夢をかけすぎる親の増加
 - (4) 自分で考えたことを貫く勇気と、アドバイスに努力をあきらめる子の増加…世の中で推奨する傾向にある。基本ができないと次のレベルに進めない。
 - (5) サッカークラブ間での移籍自由化…国際統一ルールでプロと同等扱い。
- 等々様々なことがいつでも起こります。

4. 保田JSCの指導

各チーム共楽しく独自の方針で運営していますので、私が指導する有田・保田JSCの主なものを紹介します。「元気・やる気・負けん気」を合言葉に、自分で考え・動き自立できる土台づくりを目指しています。技術のコーチングと同等以上にメンタル面でのアドバイスも含めます。

- (1) 楽しくリスペクト・感謝の気持ちを持てるようにアドバイス
 - ・自分からの挨拶を欠かさない。運営者、保護者、他チーム、グラウンド等。
 - ・対戦チームには楽しむ同志としてのリスペクトを持つ。禁句を使わない。
 - ・ミスには特に相手を励ます言葉を。一番ショックなのはミスした本人。
 - ・失敗には必ず原因がある。答えを出さず考えさせ結果に導く。理解に繋がる。
- (2) 保護者へのごお願いごと
 - ・他人と比べない。子供の目標や夢に向かって応援し、成長を見守る。
 - ・決めごと・約束ごとを直ぐに指摘するのではなく、やるまで待つ勇気を。
 - ・子供の提案には答えを直ぐ出さず、安全であれば実行させ結果まで見守る。

・子供を信じてあげる。

5.今後に向けて

いま、欧州等世界で活躍する選手や指導者は、有に100名を超えています。1993年Jリーグ発足目標が「50年でワールドカップ優勝」でした。そのためJリーグでは小・中・高の下部組織運営が条件です。近年の移籍自由化も加わり技術を中心としたコーチングで高いレベルを目指すチームが増え(海南では9チーム中4チーム)、小学生でも進んでいます。この二極化には賛成でレベルの高い子の紹介もしますが、親の勘違いによる移籍、勧誘や争奪戦。また、他域チーム離れとレベル低下が起こっています。地域密着のJリーグ理念が忘れかけているのを危惧します。

しかし、そうは言っても地域クラブの人数は意外と減りません。サッカー熱の盛り上がりと指導者の努力でしょう。特徴である「自分で考え、自分で動き、そしてチームで」が認められつつあると思います。運動好きな土台作りになれる様、私たち指導者はより連携を深めアドバイスを続けたいと考えています。

ありがとうございました。

閉会・点鐘

〔中村会長〕

例会風景



来週

2月13日は

休会です

「未来ヘキックオフ」 有田ロータリークラブ カップ

日時：令和7年2月11日（火）

集合写真：8時55分

開会式：9時より

場所：有田市健康スポーツ公園

BIG SMILE PARK

（有田市初島町浜1665番地）

【事業の目的】

青少年健全育成事業としてスポーツを通じて子供たちの礼儀作法や人を敬う心、挫けない精神力、強靱な体の形成に寄与し、将来のJリーガーや日本代表に選出されるような人材、延いては優秀な指導者を育成することを目的とする。

有田3クラブ合同例会

日時：令和7年2月15日（土）

午後6時30～9時00分

集合時間（6時00分）

場所：橘家

（有田市宮原町新町）

会費：7,000円

外部卓話：野尻 孝子氏

（東京医療保健大学

学事顧問 特任教授）